

甲状腺癌診療連携プログラム

日本甲状腺外科学会・日本内分泌外科学会・日本甲状腺学会・日本頭頸部外科学会・日本臨床腫瘍学会

<http://www.jsmo.or.jp/thyroid-chemo/>

Ⅰ 連携プログラム開始の背景

日本における甲状腺がんの年間死亡数は約 1,700 人であり比較的女性に多いことが知られています。治療法として、外科治療、放射性ヨード治療、甲状腺刺激ホルモン抑制治療、放射線治療などが用いられますが、手術不能放射線ヨード治療抵抗性の甲状腺がんは予後不良であり、新たな有効な治療法が望まれます。国際共同比較第 III 相試験の結果を基に、血管内皮細胞増殖因子（VEGF）受容体を中心に複数のがん関連タンパク質（血小板由来成長因子（PDGFR）、KIT 受容体、RET 受容体など）の阻害剤であるソラフェニブとレンパチニブの甲状腺がんに対する適応が承認されました。ソラフェニブは「根治切除不能な分化型甲状腺がん」、レンパチニブは「根治切除不能な甲状腺がん」が適応症例とされます。

日本においては、甲状腺がん治療の多くを甲状腺外科医、内分泌外科医が担っていますが、このような新規分子標的薬剤の適切な処方と有害事象のマネージメントのためには、がん薬物療法専門医との連携が必要と考えられます。そこで、日本臨床腫瘍学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本甲状腺学会、日本頭頸部外科学会は、甲状腺がんにおける分子標的薬剤の適正使用と治療成績の向上を目指し、学会間の診療連携協力を推進することといたしました。

Ⅱ 基本理念

本連携プログラムは、甲状腺がん患者に対する新規分子標的薬剤の適正使用をサポートし、その結果として甲状腺がんの治療成績の向上を目的とします。

本連携プログラムでは、

- 1) 分子標的薬の適正使用に関する診療連携
- 2) 地域における甲状腺がん治療に関する連携医師相互の教育事業を推進することを柱とします。

* 学会は個々の具体的な診療に介入することではなく、実際の診療は各医師の裁量と責任のもとで行われます。

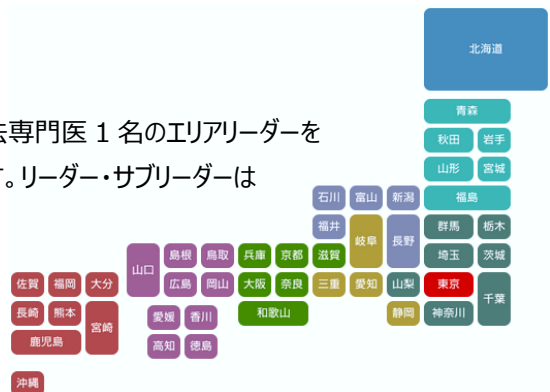
* 特定の製薬企業や団体の営利目的をサポートするものではありません。

Ⅲ 連携プログラム概要

1) 分子標的薬の適正使用に関する診療連携の促進

エリアリーダー

- ・全国を 9 つのエリアに分け、エリアごとに主治医側、がん薬物療法専門医 1 名のエリアリーダーをおきます。主治医側は各エリアにサブリーダーを 1～2 名おきます。リーダー・サブリーダーは診療連携に関する情報を提供し、連携の調整役を担います。
- ・がん薬物療法専門医のエリアリーダーは、各エリア内で連携に賛同するがん薬物療法専門医を取り纏めます。
- ・本プログラムに賛同するがん薬物療法専門医は氏名と所属医療機関名・連絡先をウェブサイト上で公表します。
- ・診療連携を通じた診療は、各医療機関に記録の残る形で行われます。



甲状腺癌診療連携プログラム担当事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6 階

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会 内

TEL : 03-6809-1250 FAX : 03-6809-1138

甲状腺癌診療連携プログラム

日本甲状腺外科学会・日本内分泌外科学会・日本甲状腺学会・日本頭頸部外科学会・日本臨床腫瘍学会

<http://www.jsmo.or.jp/thyroid-chemo/>

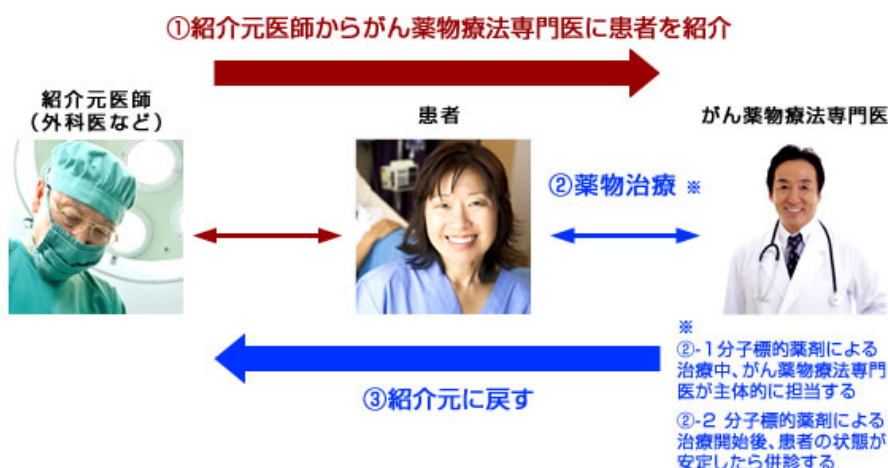
診療連携の方法

想定される診療連携の方法は大きく次の 2 つに分類されます。本プログラムは、診療内容について関連学会が具体的な診療内容に介入するものではなく、責任を負うものでもありません。

いずれの場合でも、必要に応じて紹介元医師（外科医など）とがん薬物療法専門医が併診します。

① 患者紹介

紹介元医師（外科医など）からがん薬物療法専門医に分子標的薬剤による治療期間に患者を紹介し、がん薬物療法専門医が主治医となり処方する場合



② コンサルテーション

紹介元医師（外科医など）からがん薬物療法専門医に各医療機関のセカンド・オピニオン外来などを通じて連携状況、あるいは併診状況を予め形成した上で、紹介元医師（外科医など）が自ら処方する場合



症例の登録

実際の診療は、各医師の裁量と責任のもとで行われます。

本プログラムの枠組みで紹介があった場合は、専用ウェブサイトを通じて症例を登録します。

2) 地域における甲状腺がん治療に関する外科医、内科医合同の教育事業

上記の全国 9 つのエリアにおいて、登録された症例に関してフィードバックします。又、甲状腺がん治療に関する外科医、内科医合同の教育事業を行います。適切な資料を用いて、日本における甲状腺がん患者に対する分子標的薬剤の適正使用を促進します。

甲状腺癌診療連携プログラム担当事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6 階

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会 内

TEL : 03-6809-1250 FAX : 03-6809-1138